

施行：FAX・メールBOX		令和7年3月24日
報道機関 各位		
東御市からのお知らせ		
タイトル	「対話がうまれる展覧会 vol.1 色・いろ・形、わたしのカタチ展 —後藤美月といっしょ！—」について	
日時	令和7年4月12日（土）～6月8日（日）	
場所	東御市梅野記念絵画館・ふれあい館	送信枚数4枚（本書含む）
○会期 令和6年4月12日（土）～6月8日（日）		
○開館時間 9：30～17：00（最終入館16：30） ※休館日月曜日（祝日の場合は翌火曜日）		
○会場 梅野記念絵画館 ふれあい館		
○入館料 一般500円（団体400円） 中学生以下無料		
○関連イベント		
■みて！はなして！親子でおしゃべり鑑賞会		
「何が見える？」「どうおもった？」自由にお話ししながら作品を見てみましょう！		
◎日時 4月19日（土）、5月3日（土）11：00～11：30		
◎対象 中学生以下の子どもとその保護者		
◎定員 各回10名程度（予約不要）		
◎料金 500円（入館券購入のうえ参加）		
■ワークショップ「つくろう！きもちちゃん、かたちちゃん」		
あなたの“きもち”はどんな形？いろんな紙を切ったり貼ったりしてコラージュします。作家と一緒に、親子でオリジナルの作品を作ってみませんか？		
◎日時 4月27日（日）10：30～ / 13：30～		
◎対象 小学2年生以下の子どもとその保護者		
◎定員 各5組（要予約）		
◎講師 後藤美月		
◎料金 1組500円		
■おはなし会—絵本が育む親子の対話—		

「そもそも“対話”って？」「親子の対話時間を増やすには？」
3名のゲストを迎え、様々な視点から“親子の対話”にスポットをあててお話しします。
◎日時 5月25日（日）13：30～14：30
◎対象 どなたでも
◎定員 20名程度（要予約）
◎料金 無料
◎パネリスト
ー後藤美月
ー西川 俊充：株式会社エンブックス代表／編集長。大学卒業後、一般財団法人日本気象協会にデザイナーとして入社し、4年半の勤務を経てイタリア・フィレンツェに美術留学。帰国後、株式会社 リクルートに入社し結婚情報誌「ゼクシィ」の編集者に。2008年より絵本関連会社に移り、JBBY（日本国際児童図書評議会）協力の下、児童文学の機関誌「ブックバード」日本版を創刊。現在は“絵本を通じて「親子の時間をつくる」こと”をビジョンに掲げ、子ども向け絵本の出版を行う。
ー宮下 聡：元東御市立和小学校長。2007年に梅野記念絵画館で行われた対話鑑賞研修会に参加して以降、様々な学校現場において対話鑑賞を実践。令和5年度から東御市内小中学校で行う対話鑑賞活動にも、アドバイザーとして関わる。
■展示室で！こどものおしゃべり鑑賞会
上記イベント開催中、展示室ではこどもだけの鑑賞会を開催！気になる作品をみんなでおしゃべりしながら見てみよう！
◎日時 5月25日（日）13：30～14：30
○概要
年齢、性別、国籍に至るまで多様な特性をもった他者が寄り集まり、ひとつの共同体を形成している現代社会。本展でとりあげるイラストレーター・後藤美月は、そのような時世を映し出すように、オリジナルの色紙やマスキングテープ等の素材を用いて、言語ではカテゴライズできない複数の形を組み合わせながらひとつの画面を構成します。また、それらの素材からなる形はそれ自体がもつ魅力を最大限にひきだすように絶妙に配置され、その様は我々が目指したい共生の姿にも通じるように思えます。
価値観がより多様化した現代社会においては、異なる他者とのゆるやかな共生が求められると同時に、パーソナリティ＝“わたしのカタチ”を相互に理解しあうことが重要となっており、その過程で対話は必要不可欠となってくるでしょう。そういった世相を背景に、東御市では令和5年度より市内全ての小中学校で、〈対話鑑賞〉の手法を用いたコミュニケーションの活動に取り組んでいます。
さて、私たちは“となりにいる人”についてどれだけのことを知っているでしょう？好きな食べ

物は？お気に入りの場所は？将来なににになりたいの？なにになりたかったの？…。本展では、		
その対話鑑賞をベースに「対話がうまれる展覧会 vol. 1」として、子どもにとって一番身近な		
“となりにいる人”である、親子の対話時間の創出にアプローチします。		
色いろな形が、それぞれの良さを発揮するように組み合わせる彼女の作品から、親子がおしゃべりを通してお互いの“わたしのカタチ”について見つめなおせるきっかけができるのではないのでしょうか。ゆるやかな親子のひとときをお楽しみください。		
※対話鑑賞とは？		
術作品がもつ歴史や技法などの固有の情報を読み取るのではなく、作品に対する見方や感じ方を対話を通して他者と共有し、お互いの考えを広げたり深めたりする鑑賞方法です。		
担当部課：東御市文化・スポーツ振興課文化振興係		
担当者：小沢和実		
TEL：0268-61-6161	FAX：0268-61-6162	E-mail：umenokinen@ueda.ne.jp

いろ かたち 色・いろ・形、わた

対話がうまれる展覧会 vol.1

— 後藤美月というしよ！ —
ごとう みづき

たしのカタチ展^{てん}

のんびり、ゆっくり、おやこじかん。

「これは何かな?」「どんな色・形が好き?」…

親子で、お話ししながら楽しめる展覧会です。

美術館は“静かにしなきゃダメ”な場所?

いえいえ、そんなことはありません。

この展覧会では、おしゃべりさん大歓迎!

作品に囲まれながら、親子でゆるやかなひとときを
過ごしてみませんか?

2025年4月12日[土]—6月8日[日]

休館日 = 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

会場 = 東御市梅野記念絵画館・ふれあい館

開館時間 = 9:30—17:00(最終入場16:30)

入館料 = 一般500円(団体400円)

※中学生以下無料

※団体割引は15名様以上から

※障がい者割引、学校利用減免、減額制度あり

www.umenokinen.com

主催：東御市

助成：一般財団法人地域創造

協力：株式会社シマ社 東御市立図書館

色・いろ・形、わたしのカタチ展

対話がうまれる展覧会 vol.1

年齢、性別、国籍に至るまで多様な特性をもった他者が寄り集まり、ひとつの共同体を形成している現代社会。本展でとりあげるイラストレーター・後藤美月は、そのような時世を映し出すように、オリジナルの色紙やマスキングテープ等の素材を用いて、言語ではカテゴライズできない複数の形を組み合わせながらひとつの画面を構成します。また、それらの素材からなる形は、それ自体がもつ魅力を最大限にひきだすように絶妙に配置され、その様は我々が目指したい共生の姿にも通じるように思えます。

—後藤美月といっしょ!—

価値観がより多様化した現代社会においては、異なる他者とのゆるやかな共生が求められると同時に、パーソナリティ=“わたしのカタチ”を相互に理解しあうことが重要となっており、その過程で対話は必要不可欠となってくるでしょう。そういった世相を背景に、東御市では令和5年度より市内全ての小中学校で、〈対話鑑賞〉の手法を用いたコミュニケーションの活動に取り組んでいます。

さて、私たちは“となりにいる人”についてどれだけのことを知っているでしょう?好きな食べ物は?お気に入りの場所は?将来なにになりたいの?なににならなかったの?...。本展では、その対話鑑賞をベースに「対話がうまれる展覧会 vol.1」として、子どもにとって一番身近な“となりにいる人”である、親子の対話時間の創出にアプローチします。



後藤 美月 GOTO Mizuki

1981年、三重県生まれ。名古屋デザイナー学院を卒業後、三重県四日市の子どもの本専門店・メリーゴランドに勤務。2008年、イラストレーターを目指して上京する。書籍装画や新聞、雑誌の挿絵、広告、webイラストレーションなどを手掛けるとともに、2017年に自作絵本「おなみだばいばい」(ミシマ社)を出版。玄光社イラストレーション (illustration) 主催「ザ・チョイス」入選。他、国内での受賞、展示多数。

色いろな形が、それぞれの良さを発揮するように組み合わせる彼女の作品から、親子がおしゃべりを通してお互いの“わたしのカタチ”について見つめなおせるきっかけができるのではないのでしょうか。ゆるやかな親子のひとときをお楽しみください。

※対話鑑賞とは?

美術作品がもつ歴史や技法などの固有の情報を読み取るのではなく、作品に対する見方や感じ方を対話を通して他者と共有し、お互いの考えを広げたり深めたりする鑑賞方法です。東御市の小中学校では、朝の時間で行うコミュニケーション活動として、この対話鑑賞を活用した〈朝鑑賞〉に取り組んでいます。



《ツリーのいえ》



《赤馬白馬》

東御市梅野記念絵画館
UMENO MEMORIAL MUSEUM OF ART

■ 鉄道等の場合
しなの鉄道・田中駅からタクシーで15分。

■ お車の場合
上信越道・東部湯の丸IC
から約20分。 Google Map ▶

東御市梅野記念絵画館・ふれあい館
www.umenokinen.com
〒389-0406
長野県東御市八重原935-1
芸術むら公園
TEL:0268-61-6161
FAX:0268-61-6162 HP ▶

会期中のイベント

※予約は梅野記念絵画館にお電話ください。※展覧会観覧には別途入館料が必要です。

みて! はなして! 親子でおしゃべり鑑賞会
「何が見える?」「どうおもった?」
自由にお話ししながら作品を見てみましょう!

4月19日[土]・5月3日[土] 11:00-11:30

- ◎対象 中学生以下のお子様とその保護者の方
- ◎定員 各回10名程度(予約不要)
- ◎ファシリテーター 本展覧会担当学芸員
- ◎料金 入館券をご購入ください。

ワークショップ「つくろう! きもちちゃん、かたちちゃん」
あなたの“きもち”はどんな形?
いろんな紙を切ったり貼ったりしてカラーージュします。
作家と一緒に、親子でオリジナルの作品を作ってみませんか?

4月27日[日] 10:30- / 13:30-

- ◎対象 小学2年生以下のお子様とその保護者の方
- ◎定員 各5組(要予約)
- ◎講師 後藤美月
- ◎料金 1組500円

おはなし会 絵本が育む親子の対話—
「そもそも“対話”って?」「親子の対話時間を増やすには?」
3名のゲストを迎え、様々な視点から“親子の対話”に
スポットをあててお話しします。

5月25日[日] 13:30-14:30

- ◎対象 どなたでも
- ◎定員 20名程度(要予約)
- ◎料金 無料

【おはなしする人】

● 後藤 美月

● 西川 俊充 株式会社エンブックス代表/編集長

大学卒業後、一般財団法人日本気象協会にデザイナーとして入社し、4年半の勤務を経てイタリア・フィレンツェに美術留学。帰国後、株式会社 リクルートに入社し結婚情報誌「ゼクシィ」の編集者に。2008年より絵本関連会社に移り、JBBY(日本国際児童書評議会)協力の下、児童文学の機関誌「ブックバード」日本版を創刊。現在は“絵本を通じて「親子の時間をつくる」こと”をビジョンに掲げ、子ども向け絵本の出版を行う。

● 宮下 聡 前東御市立和小学校長

2007年に梅野記念絵画館で行われた対話鑑賞研修会に参加して以降、様々な学校現場において対話鑑賞を実践。令和5年度から東御市内小中学校で行う対話鑑賞活動にも、アドバイザーとして関わる。

展示室で! こどものおしゃべり鑑賞会
上記イベント開催中、展示室ではこどもだけの鑑賞会を開催!
気になる作品をみんなでおしゃべりしながら見てみよう!

5月25日[日] 13:30-14:30

※予約不要です。直接展示室へお越しください。

同時開催 館所蔵品精選展

4月12日[土]—6月8日[日] 大展示室